

よかところ通信

2005年3月号

大津 励志、耕太&愛梨

〒869-1501 熊本県阿蘇郡白水村両併 589

Tel&Fax : 0967-62-3730

E-mail: o2farm@aso.ne.jp

O2FarmWeb : www.aso.ne.jp/ reisi



トピックス

● アイガモと突然の別れ(泣)

- 子牛2頭(&)出荷しました。
- セリにて緊張のコータ、無事落札!?

やっと春がきたかと思った矢先に雪が降り、寒さがぶり返しています。すでに開花してしまった梅にも雪が積もり、俳句の一つでも読めればかっこよいのですが、つい「梅干用の梅はとれるかなぁ」と心配してしまう私は、食い意地が張りすぎているのでしょうか!?



本邦初公開! あいがもの卵!

食い意地といえば、我が家で飼っていたカモが全部やられてしまいました! 犯人はキツネか野犬か...? カモ社会でいじめがおきていることは先月号でご紹介した通りですが、加害者と被害者のどちらを食べるかずいぶん迷いました。そして、生物界では強いものを残すべきカモという結論に至り、さあ「いただきます」と心に決めたその矢先でした。

庭で飼い始めてから約半年。池の周りの草を食い尽くしたため、比較的安全な日中は、池を離れてあちこちに出かけるようになっていました。いじめがあっても、そこは仲間。6羽と一緒に「グワー、グワー」と散歩をする姿は、愛らしい

ものでした。ところが隣近所の家にもまでお邪魔するようになったので、そろそろ対策を考えねば、と思っていたところでした。うーん、無念!

さて、お次は子牛のお話。2月26日に牛のセリがありました。南阿蘇畜産協同組合というところで、2ヶ月に1度開かれるものです。雪のちらつく寒い日でしたが、その日セリにかけられた牛の数は子牛だけで実に130頭以上。掲示板に表示された価格がどこまで上がるか。生産者にとっては緊張する瞬間です。1頭にかかるセリの時間は1分弱で、次から次へと牛が売られていくのです。実は事前に配られている資料を参考にして、めぼしい牛はセリが始まる前に見てあるそうです。その段階で、親の血統や重量でだいたいの値段は決まっているのだということを、励志兄ちゃんが教えてくれました。さて、今回のセリで一番緊張していたのは、初めて会場で牛をひいた耕太でしょう。彼は、最近少しずつなつてきた牛に対して情が湧きはじめてきたところ。売れたのは嬉しいけれど...と、涙目で子牛との別れを惜しんでいました。もう何十年も牛を飼っている励志兄ちゃんは、それなりの価格で売れたことに満足の笑み。何を企んでいるのかな!?



「こっちにおいで!」「行きたくないよー」

一方、我が家の牛たちは今、牛舎にいます。放牧地の草が少なくなる2~3月は、「舎飼い(しゃがい)」といって、牛舎で飼います。1年中放牧できればずいぶんラクなのですが、草原を食い尽くしてしまう可能性があるため、草の量が増えるまでの数ヶ月は舎飼いをしているのです。

4月になれば牛たちもひろびろとした草原に放たれます。春はそれでなくとも、なんだかウキウキしますね。それではまた。